2015年（平成27年）
3月25日
Elderly Press Newspaper
エルダリープレス ニュースペーパー
（毎週水曜日発行）
第343号

週刊 高齢者住宅新聞

（株）高齢者住宅新聞社　〒104-0061 東京都中央区銀座8-12-15　TEL.03-3543-6852（編集部）
http://koureisha-jutaku.com　発行人　西岡一紀　年間購読料 21,600円（送料込・税込）

健康寿命延伸へ

広島県内の公衆衛生事業に尽力している（財）広島県環境保健協会（広島市）は昨年7月、健康寿命の延伸を目的とした介護予防事業を展開するため、かんほきょうコミュニティサポート（同）を設立し介護事業に参入した。今月2日には、同社として第1号の高齢者施設となるリハビリ型デイサービス「リハビリサロンおひさま」（同）をオープン。かんほきょうコミュニティサポートの三枝晃次郎代表取締役に取り組みを聞いた。

かんほきょうコミュニティサポート
三枝晃次郎
代表取締役

――（財）広島県環境保健協会について教えてください。

三枝　当法人は戦後の公衆衛生を守るための公益事業を行う団体として、1957年に「広島県地区衛生組織連合会」として発足しました。戦後間もなくはぶや、ねずみなどの公衆衛生について、1965年～1975年にかけては健康づくりや公害について、その後はアスベストなど、その時代において直面する環境・衛生問題を解決すべく尽力してきました。現在も地域活動、健康、水、食、環境に関するあらゆる事業を展開しています。当法人は国からの規制を受けることを避けるため、国からの補助を一切受けておらず、全て独立採算性です。公益事業を賄うために、健康診断や食品分析、悪臭調査や飲料水検査などの収益事業を展開していますが、リハビリ特化型デイは1割程度と少ない状況です。国が推進する介護予防事業であることから、健康寿命延伸へ向けた取り組みとしてのニーズを見込んでいます。

◀「リハトレーナー」が並ぶデイサービス内

今月、第1号デイオープン

――介護事業に参入した理由は。

三枝　厚生労働科学研究費補助金による「健康寿命における将来予測と生活習慣病対策の費用対効果に関する研究」によると、2010年の広島県の女性の健康寿命は全国ワースト2位。この事実を受け、中高年へ向けた女性向けフィットネス事業を開始し、その後、介護予防事業を重点化しようと短時間型のリハビリ型デイサービス「リハビリサロンおひさま」を開設しました。広島市内にはデイサービスが約380ヵ所ありますが、リハビリ特化型デイは1割程度と少ない状況です。国が推進する介護予防事業者はその数字を見ながら定員10名のリハビリ型デイ。介護報酬改定で大幅な減額となる小規模デイとなりますが、それでも地域貢献という理念を持たせ開設しました。ほかのデイとの差別化として、「リハトレーナー」（販売：サロンオールデイーズ／東京都中央区）を導入しています。運動量や自分のペースなどのデータが目視できるため、利用者はその数字を見ながら運動でき、意欲向上に繋がります。また、個々のデータの記録やデータベース化も容易で管理しやすいことも特徴の一つです。職員による記録作業などの負担軽減になることも期待しています。

――「リハビリサロンおひさま」の特徴は。

三枝　当デイサービスは

――今後の展開について教えて下さい。

三枝　介護事業については施設系ではなくリハビリ型デイサービスを推進していきます。まずは今回オープンした「リハビリサロンおひさま」を軌道に乗せることを念頭に置き事業を進めます。地域住民へ向けた介護予防講座なども開催し、当法人が戦後から培ってきた地域貢献事業をより一層推進してきます。